＜報道発表資料＞

令和８年１１月６日
京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課

第５回京都映画賞　表彰式・上映会等の開催

～１２月は京都映画月間～

京都市では、「日本映画発祥の地・京都」の映画文化の更なる振興や持続可能な担い手の育成に寄与するため、令和４年９月に「京都映画賞」を創設しました。

この度、第５回京都映画賞において、「作品賞」「牧野省三賞」「優秀スタッフ賞」を授与することを決定し、表彰式・上映会を開催します。表彰式には、ゲストプレゼンターとして、京都映画賞名誉会員で俳優の里見浩太朗氏が登壇されます。

【「作品賞」受賞作品の決定】

京都映画賞会員の投票の結果、「作品賞」受賞作品を、『木挽町のあだ討ち』に決定しました。受賞作品には、トロフィー及び副賞として賞金１０万円を贈呈します。



©2026「木挽町のあだ討ち」製作委員会
©2023 永井紗耶子／新潮社

〇『木挽町のあだ討ち』（令和８年２月２７日公開）

（１）監督

源　孝志

（２）主なキャスト

柄本佑　渡辺謙　長尾謙杜　北村一輝　瀬戸康史

（３）作品概要

江戸の芝居小屋の近くで起きた美しい仇討ちの裏に隠された秘密を追う、謎解き仕立ての時代劇

（４）決定方法

令和７年９月～令和８年７月に１週間以上有料劇場公開された劇映画等の長編（概ね６０分以上）作品のうち、京都が題材、舞台、撮影、ロケ地となるなど、京都に所縁のある１２作品から、京都映画賞会員の投票（投票期間：令和８年８月１日～令和８年９月３０日、投票総数 1420 票）により決定。

【「牧野省三賞」受賞者の決定】

映画等の映像制作に関わり、映画表現の可能性を追求し、新たな表現に取り組む等、映画産業、映画文化振興に顕著な御功績のある京都に所縁のある方のうち、京都映画賞実行委員会参画団体から推薦された候補者を審査委員会において選考し、受賞者を決定しました。

受賞者には、トロフィー及び副賞として賞金１００万円を贈呈します。

〇受賞者　※年齢は受賞日（令和８年１２月１２日）時点

黒沢　清（くろさわ　きよし）　＜監督・脚本＞　７１歳



大学時代から８ミリ映画を撮り始める。『CURE』で世界的に注目され、『回路』で第54回カンヌ国際映画祭国際批評家連盟賞を受賞。以降も話題作を多数手がけ、最新作はカンヌ映画祭プレミア部門に招待された初めての時代劇『黒牢城』。

卓越した演出技術と独創的な映像表現で長年世界の映画シーンを牽引し続けてきた、日本映画界を代表する監督の一人である。少数のカメラ機材で効率的かつ高密度な撮影を行う独自のスタイルをとっており、映像表現の可能性を追求しているという点において、牧野省三氏が築き上げた革新的な精神と深く共鳴する。

長年の現代劇における圧倒的な技術力に加え、新たに京都での時代劇『黒牢城』の制作に挑んだ。特に、これまで時代劇の経験がなかった監督が松竹撮影所の熟練スタッフと協働し、相互のリスペクトのもとで制作を完遂させており、京都が誇る映画制作の伝統と現代的感性が融合する新たな可能性を提示した。

【「優秀スタッフ賞」受賞者の決定】

映画等の映像制作に関わる優秀なスタッフで京都の映画産業、映画文化振興に顕著な功績がある京都に所縁のある方のうち、京都映画賞実行委員会参画団体から推薦された候補者を審査委員会において選考し、以下３名の受賞者を決定しました。

受賞者には、トロフィー及び副賞として賞金１０万円を贈呈します。

〇受賞者一覧　※５０音順。敬称略。年齢は受賞日（令和８年１２月１２日）時点

岸本　学（きしもと　まなぶ）　＜劇用馬調教＞　５２歳



幼い頃から父の背中を見て育ち、馬や牛に囲まれる環境の中にいたため、自然と同じ仕事に就く気持ちを固める。平成4年より、岸本乗馬センターで馬やポニー、牛の世話や調教に携わる様になる。平成6年、撮影現場での仕事を開始。

「水戸黄門」「鬼平犯科帳」等のテレビドラマシリーズや、『レジェンド&バタフライ』『室町無頼』『黒牢城』等の映画他、数々の映像作品にホースコーディネーターとして参加。多くの方々に記憶される「暴れん坊将軍」のオープニングに出演している白馬も、初代から岸本乗馬センターで調教された馬であり、後期は学氏が担当した。

普段と異なる環境でも本領を発揮出来る様に、俳優が行う動きを事前に確認し本番さながらの状況で訓練を重ねる等、丁寧に動物と対話しながらトレーニングを行っている。親子2代にわたって、東映・松竹両撮影所で馬･牛が必要な作品ほぼ全てで提供し、京都での映画制作現場には欠かせない存在である。

京都市
CITY OF KYOTO

鈴木　和幸（すずき　かずゆき）　＜特殊造形＞　７０歳



昭和 57 年東映京都撮影所を拠点に映画、テレビドラマの特殊造形としてキャリアを開始、テレビドラマ「影の軍団」シリーズでデビュー。

「水戸黄門」「科捜研の女」「京都迷宮案内」等、長く愛されるテレビドラマシリーズだけではなく、『レジェンド&バタフライ』や『室町無頼』などの映画作品まで、幅広く担当。

灯篭や大岩を発泡スチロールで制作する等、撮影が難しい場面も特殊造形で不可能を可能に変え、その卓越した成型能力は作品にリアリティを与える。美術デザイナーが求める高度で繊細な要求を忠実に再現する技術力は、極めて高い評価を得ており、第 30 回日本アカデミー賞では協会特別賞を受賞した。現在も第一線で活躍すると同時に後進の育成にも力を注いでおり、京都での映画制作に大きく貢献している。

田嶋　なつ代（たしま　なつよ）　＜背景＞　４５歳



平成 16 年東映京都撮影所の背景部に入所。初めて携わった映画作品は『男たちの大和』、以来、映画・テレビドラマの美術に携わる。現在は、長年にわたり筆文字を手掛けてきた敬愛する師・宇野龍之介氏の仕事を受け継ぎ、時代劇をはじめ幅広い作品で文字を担当。看板やのれん、行燈、書状など、劇中に登場するさまざまな文字を一手に引き受けている。

時代考証を踏まえるだけでなく、登場人物の身分や職業、性格まで想像し、「その人物ならどのような字を書くか」を意識しながら筆を執る。

近年は映画『木挽町のあだ討ち』『国宝』『花まんま』『室町無頼』『碁盤斬り』、テレビドラマ「暴れん坊将軍」「大奥」「科捜研の女」NHK 連続テレビ小説「ブギウギ」「カムカムエヴリバディ」などに参加。

経験を重ねながら培った技術と感覚を生かし、作品の時代と人物を文字によって支える文字職人として活動を続けている。

【第５回京都映画賞　表彰式・上映会の開催】

（１）日　　程　令和８年１２月１２日(土）午後０時３０分～（午後４時終了予定）
（受付開始：午前１１時３０分／開場：正午）

（２）場　　所　京都文化博物館　３階フィルムシアター
（〒６０４-８１８３　京都市中京区高倉通り三条上る東片町６２３－１）

（３）ゲストプレゼンター

「優秀スタッフ賞」のプレゼンターとして、京都映画賞名誉会員で俳優の里見浩太朗氏に御登壇いただきます。



里見　浩太朗氏

（４）次　　第

・主催者挨拶
・来賓祝辞
・優秀スタッフ賞、牧野省三賞、作品賞の授与
・「作品賞」受賞作品『木挽町のあだ討ち』の上映

（５）参加方法

表彰式・上映会に、京都映画賞会員の方を御招待します。

ア　応募方法

以下の応募フォームから御応募ください。

（表彰式応募フォーム）

https://filmaward.kyoto/ceremony-entry/

※　会員限定イベントのため、会員登録がまだの方は登録後、御応募ください。

（京都映画賞会員登録フォーム）

https://filmaward.kyoto/members/

イ　申込期間

令和８年１１月６日（金）～１１月２４日（火）午後６時

ウ　結果連絡

令和８年１１月２７日（金）以降に、応募者全員にメールで通知します。

（応募多数の場合抽選）

（６）主催等

ア　主催

京都映画賞実行委員会

イ　共催（「作品賞」受賞作品の上映のみ）

京都文化博物館

（７）ノベルティ配布

来場者には「１２月は京都映画月間」ノベルティとして 35mm フィルムを配布します。

【１２月は京都映画月間　京都映画賞　関連事業】
〇第４弾シネマ探検隊「映画鑑賞ワークショップ」
（１）日程　１２月５日（土）午前９時３０分～正午
（２）場所　京都シネマ
（〒６００-８４１１ 京都府京都市下京区水銀屋町６２０　COCON KARASUMA３F）
（３）実施内容
　映画「ロボット・ドリームズ」を鑑賞後、司会者・ファシリテーターの進行のもと、参加した子どもたち同士でワークシートを使いながら感想を話し合うことで、より深い映画鑑賞体験に繋げる。
（４）対象　小学生～高校生（市内在住、通学）
（５）定員　３０名（子どものみ）
（６）参加費　５００円　※保護者は通常料金２，０００円
（７）申込　令和８年１２月２日(水)までに、以下フォームからお申込みください。（定員になり次第、募集終了）
https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSebjIqSLGUtqj4GqDFGx69o6_lduyf7OSUSJgJPK4N6r0t-hg/viewform

〇牧野省三賞受賞者「黒沢清」監督によるスペシャルトーク
　第 18 回京都ヒストリカ国際映画祭において、牧野省三賞を受賞された黒沢清監督の最新作『黒牢城 モノクロ特別版』を上映、その後スペシャルトークが開催されます。
（１）日程　１２月１３日（日）１０時３０分上映開始（上映後、スペシャルトークを実施）
（２）場所　京都文化博物館３階　フィルムシアター
（〒６０４-８１８３ 京都府京都市中京区高倉通三条上る東片町６２３－１）
くわしくは映画祭の公式サイトを御覧ください。
https://historica-kyoto.com/

〇京都ゆかりの映画紹介　12 月は京都映画月間　～映画で京都を楽しもう～
　動画配信サービス「U-NEXT」にて、京都映画賞過去ノミネート作品を含む、京都ゆかりの映画の特集を御紹介いただきます。第 5 回京都映画賞作品賞ノミネート作品である『おーい、応為』『黒牢城』『幕末ヒポクラテスたち』も御覧いただけます。
※『黒牢城』：2026/11/06 配信開始予定
※『幕末ヒポクラテスたち』：2026/11/11 配信開始予定
※京都映画賞過去ノミネート作品の全てを御紹介しているわけではありません。
※視聴には、「U-NEXT」への会員登録（有料）が必要です。
（「U-NEXT」特集ページ）
　https://video.unext.jp/browse/feature/FET0012322

京都市
CITY OF KYOTO

＜お問合せ先＞

京都市主催事業（京都映画賞）に関するお問合せ先
京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課
電話：０７５－２２２－３１１９